記事
Mihoko Iijima · 2020年10月25日 4m read

IRIS の開始に失敗し messages.log に ^STURECOV を使用して復旧するように記載されている場合の操作方法

これはInterSystems FAQ サイトの記事です。

IRIS の開始ができず、messages.log に以下のようなエラーが出力された場合の対処方法についてご説明します。

08/11-08:55:14:180 (2224) 1 errors during journal rollback,
see message.log file for details.
Startup aborted, entering single user mode. Enter IRIS with
c:\intersystems\IRIS\bin\iris -sc:\intersystems\IRIS\mgr -B
and D ^STURECOV for help recovering from the errors.

このメッセージは、ジャーナルファイルの破損による IRIS
開始時のリカバリ処理がエラーになっていることを示しています。

IRIS を開始するためには、通常の開始処理を行わず (例：ジャーナルの適用を行わない) 開始するように
^STURECOV を使用して手順を変更します。

具体的な手順は以下の通りです。

1) IRIS のインストールディレクトリ以下 bin ディレクトリへ移動し、以下のコマンドを実行します。
> cd C:\intersystems\IRIS\bin <- \binへ移動
> iris force IRIS

2) 一旦、通常起動処理 (STU) を行わないようにして IRIS を開始します。

2-1) Windows の場合は、タスクマネージャで、全 irisdb.exe
がないのを確認後、通常起動処理(STU)を行わないようにして起動します。

```
> iris startnostu IRIS     <---- IRIS=??? "nostu???"???????STU????
                                                        ?nostu ? ??????????????????? (^ST
U)?
> irisdb -s ..\mgr -B
```

2-2) Windows 以外の場合は、ps コマンドで irisdb
が存在しないことを確認後、通常起動処理（STU）を行わない開始を指定します。

```
> iris start iris nostu

> iris session iris -B
```

以下、2-1) 2-2) 共通です。

上記実行で、プロンプトに **%SYS>** が表示されたらログイン成功です。

【注意】Windows で実行する場合「Use emergency login to login to the system」 のメッセージ、または
のメッセージが出力される場合は、コマンドプロンプトを起動しているユーザが管理者 (administrator または administrators グループ所属) であるか、ご確認ください。

また、Windows で UAC
が有効になっている環境では、コマンドプロンプトを**「管理者として実行」**が必要になる場合もあります。

3) STURECOV
ルーチンを実行してジャーナルリカバリ情報をリセットします（記入例は**赤字**部分をご参照ください）。

```
%SYS>do ^STURECOV
Do you want to continue ? No => yes          <---- yes
Enter error type (? for list) [^] => JRN     <---- JRN入力
Journal recovery options
...
8) Reset system so journal is not restored at startup
...
Enter choice (1-10) or [Q]uit/[H]elp? 8      <---- 8入力
Are you sure you want to do this? No => yes  <---- yes
Journal recovery options
...
Enter choice (1-10) or [Q]uit/[H]elp? quit   <---- quit
Exiting
%SYS>

%SYS>do ^STU  <---- do ^STUを入力
Start Journaling? Yes => yes  <---- yes

%SYS>halt   <---- haltでIRISのログインを終了します
```

5) Windowsでは、IRISのランチャーがグレーからカラーの表示に変更したら成功です。Windows以外のOSでは、iris list の結果から status が running であれば成功です。

確認後、halt でターミナルを抜けます。

iris list の実行例は以下の通りです。

```
$ iris list
Configuration 'IRIS' (default)
  directory: /usr/irissys
  versionid: 2020.1.0.215.0
  datadir: /usr/irissys
  conf file: iris.cpf (SuperServer port = 51773, WebServer = 52773)
  status: running, since Sat Apr 18 18:24:10 2020
  state: ok
  product: InterSystems IRISHealth
$
```

その後、IRIS を再起動し、再起動が成功したら、messages.log を確認してください。

最後の起動時にエラーが存在しなければ、復旧処理は完了です。

※復旧後は必ず整合性チェック （Do ^INTEGRIT または管理ポータル > [システムオペレーション] > [データベース] > [整合性チェック]) を行うようにしてください。

#システム管理 #ヒントとコツ #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health

---

ソースURL:
https://jp.community.intersystems.com/post/iris-%E3%81%AE%E9%96%8B%E5%A7%8B%E3%81%AB%E5%A4%B1%E6%95%97%E3%81%97-messageslog-%E3%81%AB-sturecov-%E3%82%92%E4%BD%BF%E7%94%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E5%BE%A9%E6%97%A7%E3%81%99%E3%82%8B%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%AB%E8%A8%98%E8%BC%89%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E5%A0%B4%E5%90%88%E3%81%AE%E6%93%8D%E4%BD%9C%E6%96%B9%E6%B3%95